



ひよこ組 9月のクラスだより

2020年 9月10日(木)



厳しい暑さが続き、ひよこ組の子どもたちは発熱や皮ふのトラブルなどで、体調を崩すこともありました。いつもは元気でも、何かあると、その幼さやか弱さから心身に大きく影響することを実感しました。日々の保育の中でも、細心をもって子どもを守らなければと思います。

風の強い台風でしたが、被害が少なく通り過ぎ、暑さも一段落したようです。さっそく、子どもたちとテラスへ出ると少し涼しく感じる風が吹いてきました。

とことこ走ったり、手押し車を押ししたりして元気を取り戻した子どもたちです。コロナウイルスへの対策には万全を期して、9月は外遊びや園外への散歩なども楽しみながら過ごしていきたいと思います。



新しいお友だちです

S・K ちゃん

仲良く遊びましょね



キラリとひかる子どもたちの言葉

子どもたちは少しずつ自分の気持ちや発見したことや感動を指差しや声、片言で表現するようになってきました。

ご家庭からも、子どもの可愛い言葉が出てきたことを連絡帳で伝えていただき、一緒に楽しんでいます。

保育園では保育士に「テーテー」「チェーチェ」(先生)と呼びかけてくれます。食事は「オイチ」(おいしい)、犬を見て「ワンワン」猫には「ニヤー」、それに大好きなアンパンマンは「アンマン、パンマン」です。「バイバイ、アバアバ」でさようなら。豊かな言葉の対話を子どもたちと楽しい雰囲気の中で育てていきたいと思います。

ブロックで遊べるよ!

ブロックは身近な玩具です。初めは手で持って、なめてみたりしながら形や材質を確かめていましたが、この頃ははめたり、はずしたり、重ねたりして遊ぶようになりました。指で握ったり、つかんだり、ギュと押ししたりして力の入れ具合も上手になってきました。長くつなげて、はずしてみてもブロックの形の変化に好奇心いっぱいです。



(福岡 今丸)

すみれぐみだより



令和2年9月10日（木）

夏の思い出とともに、なんだか一回り大きくなったような、たくましくなった姿で元気に遊んでいる子どもたち。動きが少しずつダイナミックになりゲームボックスに登って立ち上がったり、鉄棒にぶら下がったりとできることが増えてきました。体育まつりに向かって活発に遊具なども使いながら身体を動かしていきたいと思います。



「せんせい！でたよー！」

月齢の高い子どもたちから始めているトイレトレーニング。子どもたちも少しずつトイレで排泄することができるようになってきました。トイレで排尿できた時は、大きな声と笑顔で「せんせい！しっこでたよ！」とお部屋に戻ってきます。「すごいね！」と声をかけると「ふっ」と小さく笑い、自分でオムツやズボンを履いています。

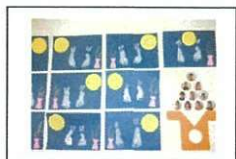
その姿を見て、周りにいる子たちも一生懸命ズボンを履こうと足を通すようになってきました。足が通せると嬉しそうに「できた！」と笑っています。

一人一人が成長していく姿をそばで見守ることができてとても嬉しく思っています。



今月の壁面紹介

今月は子どもたちの足型スタンプでうさぎを作り、お月見をイメージした壁面が完成しました。飾った壁面を見て子どもたちは「うさぎさーん」と言い、両手を上に上げ耳を作りうさぎになって遊んでいます。お団子の写真を見ては自分の名前や友だちの名前を「〇〇おったね」と言っている子どもたちです。



しゅっしゅっ ぽっぽ♪

フラフープを出して遊んだ時のことです。2人組と一緒にフープの中に入って散歩していました。中に入っている子どもたちも、そばで見ている子どもたちも「しゅっしゅ ぽっぽー」と声をかけ合いながら電車ごっこを楽しんでいました。男女で2人組になったところは、男の子がさりげなくリードしていて、頼もしいなど見ていて感じました。



秋を迎えたたんぼでは、黄色に色づいた稲穂がこうべを垂れ、「実りの秋」の始まりを告げているようです。先日の台風10号が夏の猛暑を連れ去ってくれたのか、朝夕、少しずつ涼しくなり過ごしやすくなってきました。園庭では草むらからバッタが飛び跳ねたり、コオロギやスズムシたちが澄んだ鳴き声を響かせています。子ども達と一緒に外に飛び出し、虫探しです。

草花を囲んで食事をしているよ。

「和やかに、楽しく食事が出来るように」と、各テーブルに園庭に咲いている草花を一輪、花瓶にさして飾っています。最初は興味を示さなかった子ども達も、「これ何ていう名前?」「ひまわり、かわいい!」「触っていい?」「この花、ピンクよ。」「この実、食べれる?」と、草花を見ながら色々な楽しい会話がはずんでいます。時には、「先生、お花がないよ。」と、子どもが気づいて教えてくれます。

今日のおやつはなあに?

「先生、今日のおやつは何?」さきちゃんが朝から尋ねます。「ちょっと待って。」とメニュー表を見て「今日はね…」と知らせる保育士です。さきちゃんは、給食もおやつも残さずに食べて、食事中も周りのお友だちと楽しそうにお話をしています。なので、ほとんど病気をしないそうです。また、病院と薬が大嫌いだったけれど、「薬を飲めるようになりました。」と嬉しい報告がありました。

野菜が苦手なももかちゃんは、野菜が入ったおかずを一人で残さずに食べると、得意そうに空っぽになったお皿を見せてくれるようになりました。一人ひとり育っている姿を目にして喜んでいきます。



たんぼぼやエノコロ草、ひまわりが咲いてたよ。

絵本「おつきさまこんばんは」

夜空に満月が出ました。誰かが、「こんばんは」と声をかけます。真っ黒い雲が月を隠してしまいました。また、誰かが「雲さん、隠しちゃだめ!」と声を掛けました。雲が去って行くと、満月が顔を出し、月明かりの中を家路へ帰る親子の影が見えました。

絵本を読んだ後に、「つき」の歌を歌いながらもう一度、絵本をめくって見えています。



もうすぐ「中秋の名月」ですね。コロナウイルスにも負けず、猛暑にも負けず元気で過ごせた事に感謝しながら、お子さんと一緒にお団子を頂いてみるのはいかがでしょうか?

みんなパンツでお昼寝をしているよ。

「今日はパンツで寝る!」と、ときあき君が自分から保育士に言いました。「お兄ちゃんやね。カッコイイ」そして、今日までパンツでお昼寝をしています。嬉しいことがいっぱいです。子ども達は「おしっこ しー しー」「おねしょでしょん」「おむつのなか、みせてみせて」「みんなうんち」など、絵本が大好きです。毎日の絵本読みの中から、たくさんの言葉や、排泄、手洗いなどを学んでいます。保育士との言葉のやり取りも楽しんでいきます。



令和2年9月10日(木)

残暑の厳しさの中、朝夕は少しずつ涼しく過ごしやすい日も増え、秋の気配が感じられるようになってきました。子どもたちは、園庭を飛ぶトンボを見つけると「待って～」と追いかけたり、「何色めがねだった?」「今日は青いお空だから水色めがねよ」など話したりしています。

これから金比羅・皿倉登山、マラソン大会と初めての経験がたくさんのかすもすぐみです。いろいろな経験を積んでいながら、自分の力で乗り越えたり、友だちと一緒に力を合わせたり…。大きな成長の成果を見せてくれるこの時期を大切に過ごしたいと思います。



夏の思い出

8月24日～28日に“ふたばまつり”がありました。子どもたちに夏祭りがあることを伝えると「今日、お祭りの日?」「いつお祭りする?」と毎日、保育士に聞き楽しみにしていました。

26日は以上児クラスのお店屋さんごっこの日で、かすもす組は『魚釣り屋さん』と『金魚すくい屋さん』をしました。「私はチケットもらうね」「僕は袋に入れるね」と自分たちで役割を決めたり「いらっしゃいませ」と大きな声でお客さんと呼んだり、保育士が手伝わなくても自分たちでお店ごっこしていました。未満児クラスのお買い物が終わり、以上児クラスのお買い物の時間が来ると三枚のチケットを入れたお財布を持ってお買い物に行きました。ジュースやかき氷、クレープなどそれぞれ3つずつ好きなものを買うと階段に座って友だちと見せ合いながら食べていました。お祭りウィークが終わった31日。「今日はお祭りしないの?」と残念そうな子どもたちです。今年は様々な夏の行事が中止になりましたが最高の夏の思い出ができたと思います。



髪切り屋さんです!

ままごと遊びをしていた時のことです。ロッカー前に椅子を並べ始めた一颯くん。何をするのか見ていると「いらっしゃいませ、髪切り屋さんです。」と美容院ごっこを始めました。お客さんになった楓輝くんが「お願いします。」と椅子に座るとタオルケットをクロスに見立て首に巻き、「今日はどこをお切りしましょうか?」と聞き、手で作ったはさみで切っていました。その後何人かの子どもが同じように美容師とお客さんになって遊んでいました。大人びた話し方に驚いたのと同時に、少し背伸びした子どもたちの姿にほほえましく思いました

◇お願い◇

少しずつ過ごしやすい気候になってきました。園庭で体育遊びをしたり、金毘羅山、皿倉山登山に向けて、園外への散歩も計画しています。長時間歩くと靴擦れを起こすこともありますので、履き慣れた、歩きやすい靴で登園してくださるようお願いいたします。

3歳児担任：尾崎、草場

ひまわりぐみだより

令和2年9月10日(木)



日差しにはまだ夏の名残もありますが、日中の長さも少しずつ短くなっています。夏の間はセミ探しをしていましたが、最近は園庭中を飛んでいるトンボを追いかけている子どもたちです。園庭だけではなく、近所の公園にもお散歩に行く計画も少しずつ進めて秋の気配を子どもたちと感じたいと思います。

ふたば夏祭り

先月末、1週間かけて夏祭りをしました。お祭りといえぼどんなお店があるか子どもたちに聞いてみると、たくさんのお店があげられ、その中で特に多かったアイス・かき氷・から揚げ・チョコバナナ・くじ引きのお店をすることに決めました。準備を進めていく中で、1番子どもたちが盛り上がっていたのがチョコバナナ作りでした。割り箸に新聞紙とキッチンペーパーを巻いていき、絵の具で色を塗っていくと「本物みたいやね！」と話していた子どもたち。仕上げにラメや刻んだ折り紙でトッピングしていきました。完成したチョコバナナを並べると「美味しそう」「なんかチョコのにおいしてきた」など満足げな様子でした。

お店屋さん当日。初めの方はから揚げ屋さんにあまりお客さんが来ず「誰も買ってくれん…」と寂しそうにしていますが、「いらっしゃいませー」「美味しいから揚げがありますよー」と大きな声で呼ぶと徐々にお客さんが来てくれて、初めの寂しそうな様子は消え、ニコニコ顔で売っていましたよ。他のお店も人気でどんどん商品が売れていました。

お店屋さんだけではなく、お客さんにもない年長さんがやっているお店にもお買い物に行きました。お金の代わりにペットボトルのキャップを1人6つずつ持った子どもたちは、「キャップ3個です」とお店屋さんと言われた数のキャップを渡し、クレープや焼きそばなどを買っていましたよ。

ふたば保育園の子どもたちが少しでも夏の楽しい思い出ができるようにと夏祭りを計画しました。夏祭りを通して、異年齢の友だちと関わる楽しさ、クラスの友だちと同じ目標に向かって製作する楽しさなどを感じながら、夏の思い出になったのではないかと思います。



わらべうた(ゆうびんはいたつ)

♪ゆうびんはいたつ えっさっさ～

〇〇はこんで えっさっさ～♪

※〇〇の部分は、野菜など運んでいるものが入ります。このわらべ歌を通して、役交代の遊びができるようになってきています。



4歳児担任：崎野



発行：令和2年9月10日（木）

陽差しにはまだ夏の名残もありますが、日の長さもずいぶんと短くなってきました。子どもに負けないほど力強く鳴いていた蟬の声も、いつの間にかコオロギや鈴虫の綺麗な音色に変わり、秋の気配を感じられるようになりました。子どもたちも「朝と夜は涼しくなってきたね」「赤ちゃんどんぐり見つけたよ!」「風が優しく気持ちいい～」と全身で季節の変化を感じています。

これから迎える実りの季節に、子どもたちの心も充実することができるよう、豊かな感性の育ちを支えたいと思います。



おまつりだ～おまつりだ～ふたばのおまつりだ～♪

全園児での盆踊りで幕を閉じたふたばの夏祭りウィーク。夏祭りの間、呼び込みやチラシ配り、屋台や御神輿担ぎなど大忙しで、お祭り騒ぎの子どもたちでしたが、たんぽぽ組のお祭りはお盆よりもっと前から始めていたのです…。

8月に入り多くのことが中止されている今“保育園でお祭りをやってみるのはどうか?”と投げかけてみました。すると“お祭り”と聞くだけで、「やってみたい!」「どんなお祭りにしようか?」と期待をふくらませた子どもたちの話し合いが始まり、初めは「屋台をしたい!」「御神輿もいるよね」「花火は?」「〇〇屋さんと～〇〇屋さんと～…」とそれぞれの想いがふくらみ話しがまとまらず、数日間、話し合いが続きました。たくさん挙がったアイデアのなかから、自分たちで出来るもの（作れるもの）は何だろうと考え、御神輿・屋台作りがスタート。どんな御神輿だったらみんなが元気になるか、どんな素材を使ったら本物の食べ物みたいになるか、それぞれが意見を出し合い、ときには思いがぶつかりながら少しずつ準備が進んでいき、僕たちのパワーを分けてあげられるようにと自分たちの顔を画用紙でつくって貼った御神輿や思わず食べてしまいたくなるような食べ物の数々が出来上がりました。子どもたちも御神輿や屋台を見ては今か今かと当日を楽しみにしていましたが、お祭りを次の週に控えた週末。「どうやってお祭りが始まるって知らせる?」「始まりますよーって言うだけじゃ楽しそうって思わないかも…」と新たな問題が。1時間ほど話し合い「楽器使うのはどう?」「お祭りの歌を作ろうって知らせるのも良いかも!」と“南の島のハメハメハ”で替え歌をつくり、間に合うだろうかという保育士の心配をよそに子どもたちはお祭りの準備を終えました。

当日「お祭りが～始まるよ～トンテンカン♪」となんとも楽しそうな呼びかけから始まり、おそろいの法被を着た子どもたちが担ぐ御神輿と共に活気溢れる「わっしょい!」という声が園に響き、ふたば夏祭りが始まりました。各クラスで計画した屋台やゲームも開店し、店員やお客さんになり「いらっしゃいませ～」「すいません、ジュースください!」と異年齢でのやりとりを楽しみ、買い物の後には嬉しそうに袋の中を覗き込む子どもや友だちと一緒においしそうに食べる真似をする姿が見られ、楽しい夏のひとときを過ごしたようです。あつという間のこの一週間でしたが、お祭りを終えた子どもたちは「あー楽しかった!」と満足げな表情で、自分たちでやり遂げたという達成感を感じているようでした。



♪今からお祭り 始まるよ
 みんなで楽しい お祭りだ
 食べ物いっぱい 売ってるよ
 美味しい食べ物 食べようよ
 みんなで踊ろう 盆踊り
 お祭りだ～ お祭りだ～
 ふたばのお祭りだ～



☆ドキドキわくわく もりのいえ☆

9月19日（土）は小倉南区にある“もりのいえ”へ日帰り保育に行きます。今年にはコロナウイルスの影響でお泊まりは出来ませんが、9月に入りカレンダーを見るたび「バスとモノレールとタクシーに乗って行くんよね?」「早く行ってみたいー!でも本当にたんぽぽだけで行けるかな?」「もりのいえって森の中にあるって前のたんぽぽさんが言ってたよね!どんな所だろう…」と期待をふくらませて話をしています。公共の乗り物を使い継ぎ、保育園とは違う場所での集団活動をするなかで、たんぽぽ組15名それぞれがどうしたらよいか考えたり、時には友だちと協働・協力したりしながら様々な経験が出来たらと思います。

当日は現地解散のため、もりのいえまでお迎えをお願いします。帰り道ではきっと子どもたちのお土産話で花が咲くことと思います。お忙しい中大変かと思いますが、ご協力をお願い致します。